

4. トラブルとその対応事例

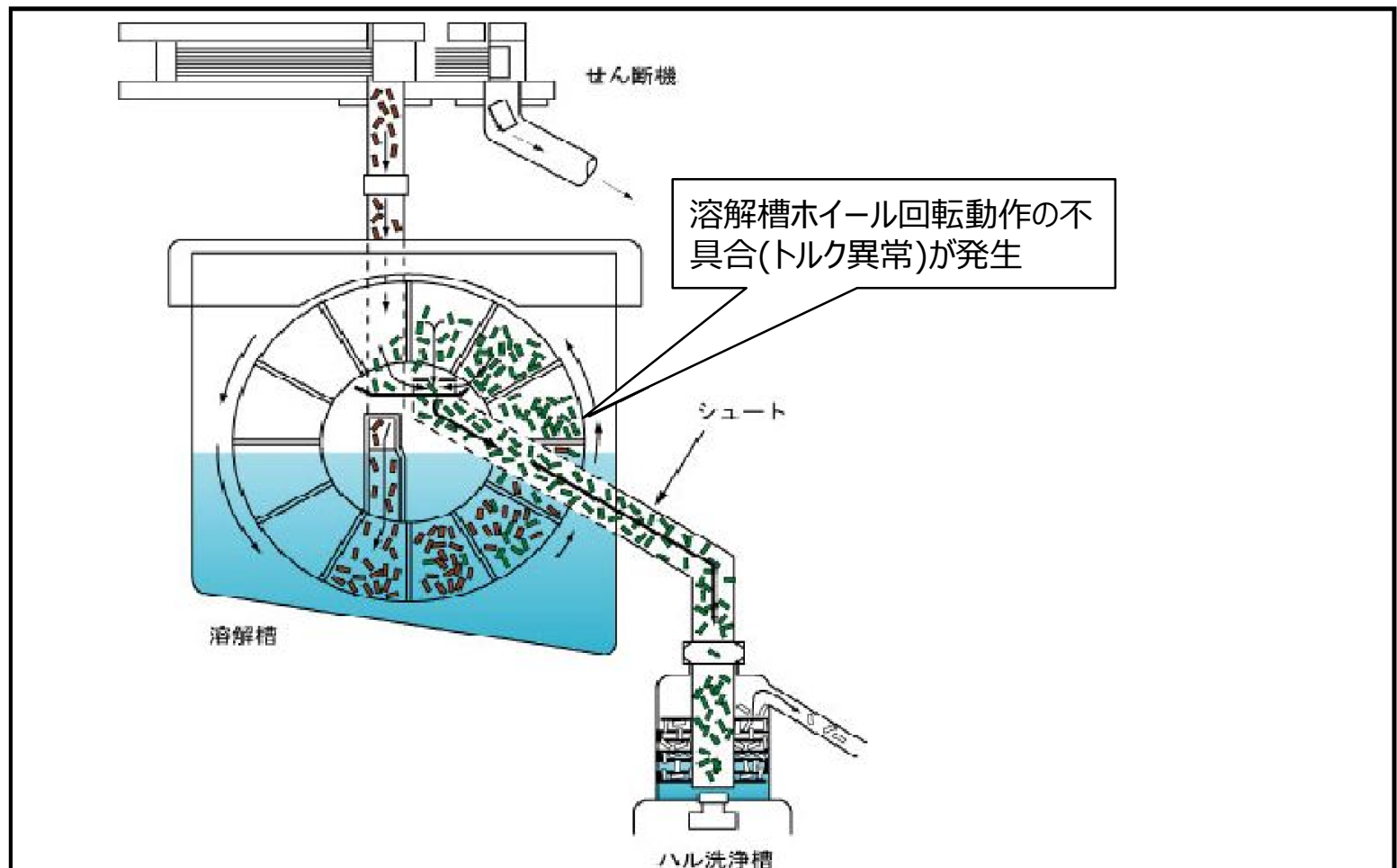
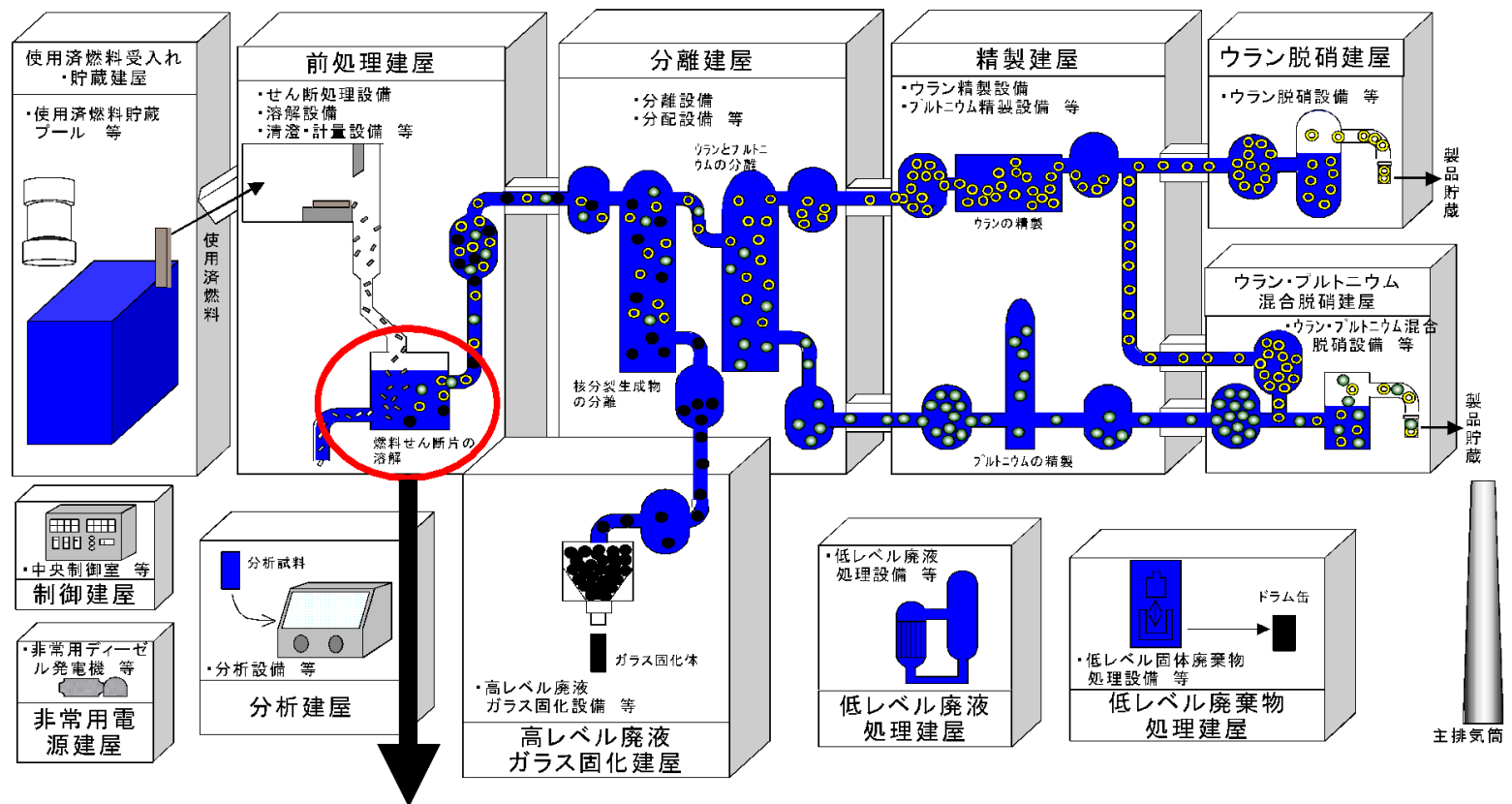
4－1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別（C. 機器動作不良）

3-21. 溶解槽におけるホイールの回転不良

事象の概要																	
(1)発生場所：機器	前処理建屋：溶解槽																
(2)設備の概要	せん断機にてせん断した燃料片を硝酸に溶解する設備。燃料片を受け入れるバスケット（籠）を、円周状に設置したホイールの一部を硝酸に浸して、燃料を溶解する。																
(3)発生の状況	溶解槽の運転中																
(4)概要	溶解槽のホイールの回転動作不良に伴う溶解槽の停止。																
(5)原因	運転を継続する中で偶発的に発生するハル等の引っかかり。																
事象による影響																	
(1)工場外への影響	工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋せん断処理・溶解廃ガス処理設備および換気設備が稼働しているセル内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。																
(2)安全性への影響	安全上の問題は生じない。 溶解槽ホイールの回転動作不良によりせん断を停止するため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 溶解槽ホイールの復旧作業は、セル外からの遠隔作業であり、作業員への影響は生じない。																
(4)他工程への影響	上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 溶解槽の停止に伴い、せん断機、溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋に設置されている一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。																
対応の概要	1.定められた操作手順および保修手順に従い、溶解槽ホイールの逆回転・回転を繰り返し、ハルの引っかかりを解除する。 2.ハルの引っかかりの解除後、定められた操作手順に従い、運転を再開する。																
公表区分	毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）																
連絡区分*	<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>					トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

事象概要



復旧方法

定められた操作手順に従い復旧操作をして復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

影響の範囲の設備を停止して復旧

